

令和6年9月18日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後2時00分
閉会 午後2時40分

- 2 出席委員
神 先 宏 彰 教育長
北 村 真 也 教育長職務代理者
末 永 礼 子 委 員
出 藏 裕 子 委 員
秋 山 伸 夫 委 員
松 浦 千 弘 委 員
野々村 誠 一 委 員

- 3 欠席委員
なし

- 4 出席事務局職員
森 岡 浩 之 教育部長
川 口 雅 彦 次長兼総括指導主事
松 野 文 彦 教育総務課長
今 西 恵 一 学校教育課長
黒 田 貴 子 学校教育課教育支援担当課長
土 川 博 社会教育課長
宮 本 かおり 社会教育課人権教育担当課長
岩 崎 盛 雄 学校給食センター所長
小 川 博 久 図書館長
片 山 久仁彦 みらい教育リサーチセンター所長
山 内 久美子 みらい教育リサーチセンター副所長兼まなびプロモーション係長事務取扱兼まなびサポート係長事務取扱
榎 本 祐 輔 教育総務課総務係長

- 5 傍聴者
なし

- 6 議事の概要
(1) 開会
○教育長が開会を宣言。

(2) 前回会議録の承認

令和6年8月22日に開催した定例会の会議録を確認し、承認した。

(3) 教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

◎亀岡市関係

- ・ 亀岡教育委員会点検・評価（外部評価）会議において、令和5年度の教育委員会実施事業について、外部委員から点検、評価を受けた。
- ・ 校園長会議を開催し、各校園長に、1学期終えた今の学校の実情、そして2学期のビジョン・方向性を発表してもらった。第二部では、魅力と特色ある学校づくり推進事業の昨年度の報告を受けた。
- ・ 市議会定例会9月議会再開した。
- ・ 市議会定例会9月議会一般質問が行われ、教育部には8人37項目、多岐にわたる質問を受け、答弁した。
- ・ 令和6年度亀岡市戦没者追悼式が約100人の参列者のなかで挙行された。
- ・ 5年ぶりに開催された敬老会において、亀岡地区西部（河原町）の敬老会に出席。市長代理として、祝辞を代読した。
- ・ 亀岡市美術展表彰式が開催され、教育長賞の賞状を交付した。

(4) 議 事

議案番号	件 名
第9号議案	令和6年度（令和5年度対象）亀岡市教育委員会点検・評価報告書の作成について

○第9号議案について教育総務課長が議案説明を行った。

第9号議案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、令和5年度に実施した事務事業の執行状況等について点検・評価するもので、過日、2人の外部委員を交えて点検・評価を行った結果を取りまとめた。今回の議決を経て、開会中の市議会定例会9月議会に提出を行おうとするものである。第2次亀岡市教育振興基本計画を令和3年度に策定し、令和5年度事業が2回目の点検・評価であるが、外部委員からいくつか課題の指摘をいただきながら、全体的には、事業の展開について、概ね前向きな評価と今後のさらなる工夫と発展にも期待の声をいただいたところである。

第9号議案について、原案どおり承認した。

(5) 報告事項

- ①市町村教育委員会研究協議会について
- ②令和6年度11月教職員研修講座について
- ③サイエンスフェスタ2024について

○各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

<市町村教育委員会研究協議会について>

教育総務課長 9月13日に第3回の研究協議会が大阪で開催され、末永委員、出藏委員、松浦委員にご参加いただいた。他の委員への情報共有のため、末永委員から順番に当日の様子等、お話をいただきたい。

末永委員 まずはじめに文科省の方から、行政説明が全体に関わってあった。

特に私が大事であると感じたことは次の二点。

1つは、教職員の働き方改革について。やはり究極は、人材の登用ではないかと私自身も思うところであるが、文科省においても、色々な施策をそこに振り向けるという説明があった。

例えば小学校では、現在の高学年からの教科担任制を中学年まで拡充するということ。

新卒1年目の先生の授業の持ち時数を一定程度抑えて、自己研鑽できるような時間に当てること。

すべての中学校に生徒指導担当の担当教師を配置して、そして小学校にも派遣しながら、そうした面での指導を充実させるといったことなどがあり、充実させる方向であると思った。

しかし、一方で、教員のなり手不足ということが課題になっており、これはどのように充実させていけばいいのかということについては、少し難しそうだなということも同時に思った次第である。

そこについては、定年延長のことがあり、そうした面で、人材を確保しながら行っていくという方向性であると聞いたところである。

もう1つは、不登校対策で、フリースクールのようなものを民間だけに任せるということではなく、考えていく必要があることから、学びの多様化学校の設置を地方公共団体も考えていくという方向性であることや、校内の教育支援センターを充実させていくということの2点のことが大事なこととして印象に残った。

分科会は、教育委員会の機能強化、或いは活性化という分科会に参加したが、分科会の報告のところで、それぞれ対応に工夫をしておられるということであった。

亀岡市と同様にオンライン化をされているところや、教育委員協議会を別途開いて、協議の内容を充実させることに取り組まれている教育委員会もあった。

またタブレットについては、私たちも利用しているが、そこに学校のようにクラスルームというものを、教育委員と教育委員会とで設置して、日頃疑問に思ったことはすぐやりとりができるようにしているところもあった。

また、教育委員の自主的な勉強会を開催しており、教育委員が順番に何か課題提起をして、自分たちの研鑽をしておられるところもあった。

このように皆さん工夫をしているので、良いことは取り上げていきながら、また協議が充実するようになればいいと思った。

出 蔵 委 員 末永委員と同じ分科会に参加した。

亀岡市が行っている協議会という取り組みは、定着しているのは珍しいこと。

事前学習や提案したいことがあれば、その場でできるというのは、他の市町村の委員にとっては、どうすればそのようなことができるのかということであった。

またペーパーレス化についても秋山委員の意見でタブレットを使って早くに実現したことを驚かれていた。

先程のクラスルームについても天理市の委員の提案で行われているということであった。

それぞれの教育委員会と教育委員によって様々なスタイルで運営されていることがわかった。

亀岡は、亀岡らしく深められていると感じた。

感動したのは、天理市の取組。

3, 500人の小中学生がいる市において、先生が4月から12月の間に14人休職又は退職した。

そのような中、教職員にアンケートをしたところ、一番大変なのは保護者対応ということであった。

その結果を受けて、教育委員会に「ほっとステーション」という直通窓口を設け、教員が子どもと向き合い、子どもの学びの質の向上に専念できる環境を構築されていた。

松 浦 委 員

この取り組みもメリット・デメリットはある。亀岡市においてもスクールロイヤーを設置している。

私が感動したのは、現場の状況をアンケートを取って聞こうとした教育委員会の取組みである。

現場の先生や子どもたちの思いを聞く機会というのは、なかなか無い。

今様々な問題がある中で、子ども達や先生方の思いを今後亀岡市でもタブレット端末等を活用してアンケートを取っていけば、新たな亀岡らしいスタイルで教育行政を進めていけるのではないかと感じた。

大変充実した時間を過ごせたが、ストレスにもなった。

私は、部活動の地域連携等、地域移動と地域スポーツ文化、芸術環境の整備についてという分科会に参加した。

スポーツ庁地域スポーツ課の方からの説明を受けたが、印象的にはクラブ活動がなくなるという印象を受けた。

というのは、地域の子供は地域で育てるとか、地域のニーズに合ったように対応するという言葉が出てきた。そうすると、学校単位でのクラブがなくなってしまふのではないかという大きな印象を受けた。

私がこの分科会になぜ参加したかったかという、市町村のそれぞれの分科会のメンバーの中で、クラブそのものがどういうものであるかということについて、討議したいと思っていたからである。

というのはクラブ活動そのものが、生徒を育てるとともに、色々な経験することによって、教師の成長に繋がると大変感じていたためである。

よって、地域移動ってというのは、少子化の影響により致し方ないと思っているが、従来のクラブのあり方ということについて話し合いできたらと期待していたが、今回できなかった。

私の分科会は、岡山の津山市と香川県のさぬき市、京都の精華町、奈良県の高取町で構成されていた。高取町は小規模で、規模が小さ過ぎることによって、クラブが成り立たないため、地域移動は当たり前に行われているということで、地域移動の話ばかりがメインになり、クラブそのもののあり方については、全く話し合いにならなかった。

亀岡市は全国出場など先生方も頑張っている。
忙しい中でも頑張ってクラブ活動していますと言った
が、クラブそのものが全部地域に移動してしまうとい
う、そのような状況で少しショックを受けたという感
じである。
例えば津山市では、令和6年度から一部の芸術等のク
ラブに関して試行状態であるが受け入れ体制が始まっ
ている。
精華町は、令和6年度から吹奏楽は事実上クラブから
離れて一般の地域クラブへの移動しており、運動系も
一部移動するということになっている。
さぬき市に関しては、本当に規模の小さいところだと
言っていたが、クラブ活動の地域のガイドラインを作
り、そしてクラブ活動推進の地域移動推進協議会とい
う会議を設けており、移動することが前提の体制が構
築されている。
高取町も、地域移動推進のために、現在休日のクラブ
活動を中止して、クラブを廃止する方向に向けるとい
う提案を出している。
このような状態であり、クラブのあり方についての話
し合いは全くできなかった。

<令和6年度11月教職員研修講座について>

出 藏 委 員 先程の教職員研修講座であるが、以前私が受けた研修
が良かったため、その先生にお越しいただきたいとお
願いしたところ、リサーチセンターの皆さんがすぐ
に対応してくださり、9月5日に仲島正教先生をお迎え
して、校長先生向けの「学校マネジメントとコンプライ
アンス講座Ⅲ」を開催してもらった。
私も出席したが、委員として要望したことが実現でき
たことを嬉しく思う。
講座に参加された先生の感想を聞かせて欲しい。
講師の先生は、阪神ファンであるが、なぜ好きなのか
というと、勝っているからいいのではなく、弱いからこ
そ応援している、誰も見捨てないという阪神ファンの
良さがあり、それを教育に置き換えて、誰も置き去りに
しないという講義をされた。
「5分間の家庭訪問や親は10秒の愛。」
「たった5分、たった10秒でいい。」
「子どもの名前を言えますか。」

校長先生を激励し、研修会というよりは、授業のような感じであった。

それを体感された亀岡小学校の先生は、学校にも来てほしいということで、調整されていた。

今後、講座内容を持ち帰られた学校がどのように2学期をすごされるのか、学校訪問等も企画していただきたい。

(6) その他

○次回の教育委員会について案内

日時：10月15日（火）14時から

場所：800会議室

(7) 閉会

○教育長が閉会を宣言

以 上

○教育長職務代理者

○委 員

○委 員

○委 員

○委 員

○委 員

○教 育 長

(調整者 教育総務課長)